

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名	区域まちづくり事業（中区）			事業番号	212-004
担当部署名	中区役所	局	—	部	企画総務
				課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	中区地域計画			
3	事業開始年度	平成 28 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	中区民	対象数	単位	
			約12万	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	区民のニーズや区域の実情などを踏まえながら、区役所が主体的に区域の特性をいかした魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>区民ニーズを踏まえ、区役所や区役所と区民との協働による実行委員会等が主体となって、区の特性に適合する様々な事業を企画・立案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中区区民フェスタ ・中区魅力発信事業 ・中区防災まちづくり事業 ・区民の主体的な健康づくり推進事業 <p>また、事業所管局と連携し、区民ニーズを踏まえた区域整備を行う。 令和3年度予算から、区域まちづくり事業のうちのハード事業に係る区局連携分予算について、事業所管局へ移管しており、事業費が大きく減少している。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	中区ふれあい事業推進委員会、中区安全安心まちづくり協議会			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	区民ニーズや区域の実情などを踏まえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進					
	当該目標を設定した理由	区域まちづくり事業の実施目標であるため。				
	目標に対する実績	事業実施合計数				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	事業実施数	事業	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	22	23	24
			実績値	19	24	
	達成率	86%	104%			
	当該指標を選定した理由	活動指標としていくつ事業が実施できたかが一定の評価対象となりうると考えたため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	当初予算化している事業数				

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	区域まちづくり事業（中区）	事業番号	212-004
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
	事業費（a）	23,485	25,845	33,464	27,302	30,197	
13	財 源 内 訳	国支出金					
		府支出金					
		市債	6,600				
		その他（区民まちづくり基金、利子収入）					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	16,885	25,845	33,464	27,302	30,197	
14	人件費（b）	47,360	47,460	47,060	47,060	46,760	
15	年間経費(c)=(a)+(b)	70,845	73,305	80,524	74,362	76,957	

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	報償費	R5	決算	438	438	使用料及び賃借料	R5	決算	11	11
		R6	予算	1,509	1,509		R6	予算	194	194
	旅費	R5	決算	7	7	工事請負費	R5	決算	1,976	1,976
		R6	予算	10	10		R6	予算	2,000	2,000
	需用費	R5	決算	5,651	5,651	備品購入費	R5	決算	305	305
		R6	予算	6,532	6,532		R6	予算	500	500
役務費	R5	決算	193	193	負担金、補助及び交付金	R5	決算	16,317	16,317	
	R6	予算	461	461		R6	予算	16,791	16,791	
委託料	R5	決算	2,404	2,404		R5	決算			
	R6	予算	2,200	2,200		R6	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

		区 分	単位	令和4年度	令和5年度
17	①	事業実施数	事業	19	24
	②	上記①にかかる年間経費	千円	73,305	74,362
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	3,858,158	3,098,417
備考（算出についての説明等）					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 コロナ感染拡大防止による制限解除により、各種事業についてほぼ通常どりの開催ができるようになったことで実施事業数・年間経費ともに増加したが、単位当たり経費は減少し、効率的な事業実施ができています。今後も区民の満足度向上に繋がるよう、効率的な事業実施を図りながら、引き続き事業の継続・見直し等の判断を行っていく。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 令和2年度に策定した中区地域計画において示している、中區がめざす将来像を構成する要素「安心・魅力・活力」の分野的要素である子育て、安全、歴史文化などに位置づけられる個別事業について、アクションプランリストにおいて毎年度評価した上で、区民ニーズを踏まえた事業の企画・立案や見直しを行うことで、地域課題の解決や持続可能な社会の実現に寄与している。

例えば「中区魅力発信事業」において実施している注染製品販売会の満足度は、令和3年度の89%から令和5年度の95%と高く推移しており、注染の魅力について区民に周知を図ることができています。保健センターで実施している「がん検診受診率向上対策」では日曜乳がん検診の受診者数が令和3年度の29人から令和5年度の61人と倍増しており、また「乳幼児のむし歯ゼロ作戦」では、2歳時に歯科検診と歯科保健指導などを行うことで、3歳児でう蝕がある児の割合が令和3年度の14.0%から令和5年度は11.1%と減少を続けており、主体的に健康の増進及び生活習慣の改善に取り組みよう促すことができています。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和5年度とした事業のみ記載）

必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い	例えば「中区魅力発信事業」において実施している注染製品販売会の満足度は、令和3年度の89%から令和5年度は95%と、継続して参加者の満足度は高く、事業実施する必要性・有効性は高い。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い	